

今後の予定

J-PARC センター

1

今後の予定について

1. 加速器の性能確認の予定
 - リニアック: 2013年12月中旬～
 - 3GeVシンクロトロン: 2014年1月
 - 50GeVシンクロトロン: 2014年3月
2. 各実験施設の利用運転再開の準備
 - 物質・生命科学実験施設(2014年1月末)
 - ニュートリノ実験施設(2014年4月頃)
 - ハドロン実験施設(再発防止対策終了後)

リニアックの性能確認について

性能確認の概要

- ・ 対象: 既設加速ユニット (181MeV部)、新設加速ユニット (400MeV部)
- ・ 内容: ビームの加速エネルギーの確認、
ビームの広がり(大きさ、パルス幅)の確認、
ビーム電流の安定性の確認など。
- ・ ビーム強度: 利用運転時の1/10程度。

性能確認時の安全策

- ・ ビームは、リニアックのエリアのみに限定。
→3GeVシンクロトロンへの誤入射防止用に、ビーム輸送ラインにプラグを挿入
- ・ シフトリーダー(1人)、サブシフトリーダー(3人)に、コミッショニングチーム(約3人)を加えて、性能確認を実施する。
- ・ 異常事象が発生した場合は、改訂したマニュアルに従い、速やかに「注意体制」、「事故体制」に移行して対応。